

2021年7月30日

各位

ジェイファーマ株式会社
代表取締役社長 吉 武 益 広

資金調達のお知らせ

当社は、株式会社産業革新投資機構の傘下の JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社が運営する JIC ベンチャー・グロース・ファンド 1 号投資事業有限責任組合を引受先とする第三者割当増資により 6 億円の資金調達を実施したことをお知らせいたします。このたびの調達により、ラウンド D の累計調達額は、33 億 46 百万円となります。

当社は、細胞膜表面のトランスポーターを標的とした創薬ベンチャー企業であり、2005 年に杏林大学を退官した遠藤仁元教授により設立され、様々なトランスポーターを標的とした新規薬剤の研究開発を展開してまいりました。

近年は、L タイプ・アミノ酸トランスポーター (LAT1) 阻害剤の研究開発に特化し、標準的化学療法が不応・不耐となった進行性がんの治療を目的に複数の新規薬剤 (JPH203 と OKY034) の臨床開発を進めてきております。

今回調達した資金は、現在治験実施中の JPH203 の胆道がんでの臨床開発及び OKY-034 のすい臓がんでの臨床開発の促進、そして将来を見据えた海外事業開発の体制構築に活用していく予定です。

このほかにも当社では、LAT1 阻害剤の自己免疫疾患への応用にも取り組むとともに、日本発の新規薬剤標的を厳格な臨床試験により立証し、国内のみならず、海外の企業との協業等を通じ、医療への応用を積極的に推進してまいります。

【JPH203 について】

JPH203 は、ジェイファーマが独自に見出した新規の低分子化合物であり、細胞が増殖或いは活性化されエネルギーを緊急に必要とされるときにアミノ酸の取り込む為に細胞表面に発現する LAT1 を選択的に阻害します。LAT1 を標的とし臨床開発を進めている世界初の化合物であり、医薬品の承認を取得すれば、日本発のファースト・イン・クラスの新薬となります。

既に固形がん患者を対象にした第 I 相試験において、良好な忍容性が確認され、がんに対する治療効果が示唆されており、現在、標準的化学療法に不応・不耐となった進行性の胆道がん患者を対象に第 II 相試験を実施中です。また、この第 II 相試験では、患者の背景因子に基づき層別し試験を実施しており、コンパニオン診断薬の開発も同時に進めています。

【OKY-034 について】

OKY-034 は、JPH203 と同じ標的である LAT1 に対してアロステリックに結合することで LAT1 の働きを阻害する新規の低分子化合物です。ジェイファーマは、OKY-034 の物質特許を保有する大阪大学及び神戸天然物化学より全世界での独占的な専用実施権を得ています。

現在、OKY-034 は、標準的化学療法に不応・不耐かつ外科的切除不能すい臓がん患者を対象に大阪大学で医師主導の第 I / II a 相試験が進行しています。

【引受先からのコメント】

JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

代表取締役社長 CEO 鍵水 英樹 様

ジェイファーマでは、杏林大学名誉教授で創業者の遠藤仁氏と、大阪大学教授である金井好克氏による画期的なトランスポーターの発見をベースに、長年にわたる官民挙げての支援の下、トランスポーター創薬という未開拓領域において研究開発を進めてきました。その結果、胆道がん、膵臓がんという難治性がんの治療薬について臨床試験を開始するなど大きな成果を上げています。

弊社は政府系ファンドとして、ジェイファーマが開発を進める新しい作用機序による治療薬が、難病に苦しむ多くの患者様に新たな治療の選択肢を提供できることに期待すると共に、遠藤氏、金井氏が開発の先鞭をつけ、ジェイファーマがアカデミア、民間企業と連携して治療薬の商用化に向けて長年開発を進めてこられた熱意及び開発努力に深く敬意を表し、こうした意義深い取り組みに参加できることを非常に嬉しく思っております。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

ジェイファーマ株式会社

管理部

Tel: 045-506-1155

Fax: 045-506-1156

info@j-pharma.com

担当：湯沢